

# 本日のテーマ「陽気な本」

実施日：2017年5月21日

## 1 「元気が出る俳句」

倉阪鬼一郎／著 2014年 幻冬舎 【911.3ク】

タイトル通り、人生を応援し、勇気をくれるような俳句が  
たくさん詰まっています。過去の有名な人から現代までの  
いろいろな人の俳句がよめます。解説付ではありませんか。  
目次が俳句になっているので、忙しい時は目次を「けでも」  
心の中で何度もくり返すような俳句が見つかるかも!!



## 2 「ある日、アヒルバス」

山本幸久／著 2008年 実業之日本社 【Nヤ】

東京の観光バス会社アヒルバスを舞台にした  
お仕事小説です。入社5年目の主人公、デコちゃん  
の心が愉快です。

東京の名所も出てきて観光気分も味わえますよ。  
続編「天晴れアヒルバス」もあわせてどうぞ。



## 3 「毛髪川柳」

日本自毛植毛センター／編 五月女ケイ子／絵  
2005年 日本文芸社 【911.4モ】

マイナスポイントを笑いに変えらる その強さと  
潔ぎ良さに心打たれます。



## 4 「お茶の時間 カフェが自分の部屋化していることないですか？」

益田ミリ／著 2016年 講談社 【726.1】

「お茶の時間」というテーマだけで1冊の本が  
できるのねと感動します。まさに「家に帰りたい」  
日は、どこかで休んでお茶を飲む日。人には  
あったいいのだと思います。思わぬ、くちくちと笑って  
しまうエピソードがたくさんあります。



## 5 「切手女子のかわいい収集BOOK 集める！飾る！眺める！」

ばばちえ／著 2014年 PHP研究所 【693.8】

X-1全盛の時代にあえて郵便を(切手も)  
集める人たちがいます。あなただけ、手元にいつか  
記念切手がたまっていませんか？ それを眺めようとして  
手紙の切手が長くなっていませんか？ 切手の世界も  
のぞいてみてください。



## 6 「ぼくだけの山の家」

ジーン・クレイグヘッド・ジョージ／著 茅野美ど里／訳  
2009年 偕成社 【93ジヨ】

少年  
ニューヨークに11人もの大家族で暮らすサムは、家  
を出て、1人山での生活を始めます。最初はうまくいき  
ませんが、火をおこし、魚を釣り、何と「ハブ」サマで調教  
してしまいます。児童書ですが、サバイバル描写がとて  
楽しいので、大人の人でも。陽気な家出といえます。



## 7 「熊本の桜納豆は下品でうまい」

太田和彦／著 2015年 集英社 近日中に所蔵予定

## 「アゴの竹輪とドイツビール」

太田和彦／著 2015年 集英社 近日中に所蔵予定

陽気に誘われて、地元で商店街をぶらぶらして  
夜は居酒屋へ。この本に登場する店や場所の  
リストがうろにありま。ああ、本を片手に旅に出たい！  
美味しいものを食べたい！



## 8 「レヴォリューションNO.3」

金城一紀／著 講談社 2001年 【Nヤ】

オチコボレで、ソソビた僕らが「世界を変える」  
行動を起こす…。登場人物、一人一人の個性が  
際立って魅力的で、明るい空気に満ちた作品  
です。安心して読んでください。No.0も所蔵あり。

